

脱・しくじりプレゼン 言いたいことを言うと伝わらない！

八幡 紘芦史 編著/竹本文美, 田中 雅美, 福内 史子 著

＜書評者＞ 飯原 弘二

(九大大学院教授・脳神経外科)

医師の日常は、臨床カンファレンスから学会発表，研究成果発表会など，プレゼンの機会に事欠きません。若手の医師にとっては，初の全国学会での口演発表，中堅医師では，シンポジウムの発表，共催セミナーでの口演が当たると，大変うれしいものです。また公的研究費の獲得や公的なポストへの昇進など，プロフェッショナルとしてのキャリアをアップするうえでも，プレゼンの重要性に異を唱える人はいないと思います。しかし，いかに仕事の内容が素晴らしくても，聴衆に効果的に伝える努力を私たちは十分しているのでしょうか？ 今から思いますと，私も若いころ，かなり独り善がりなプレゼンをしていたように思います。

このたび医学書院から，医療者向けに『脱・しくじりプレゼン』が刊行されました。編著者は，名

著『パーフェクトプレゼンテーション』（生産性出版，1995）で有名な八幡紘芦史氏です。私自身，プレゼンの基本を八幡氏から学んだ一人です。本書は，多忙な臨床医や研究者向けに，プレゼンの極意を，マンガと丁寧なレクチャーでビジュアルに解説しています。効果的なプレゼンには，事前の情報収集と分析がまず必要なこと，聞き手に当事者意識をもたせることを示して，さまざまな場面での失敗の要因を分析しています。デリバリーとは，まさに伝えるテクニックです。内容を聴衆に理解してもらい，さらに信頼してもらえるかは，このデリバリーの技術にかかっています。また，研究費の獲得や公的なポストへの昇進でのプレゼンでは，プレゼン後の質疑応答が，より大切になってきます。この質疑応答の成否は，深い意味

では，プレゼンした内容が，いかにあなたの実体験に基づいているにかかっています。本当に身についた知識や内容であれば，聴衆は本当に理解して，共感してくれると思いますが，プレゼンの目的や聴衆はさまざまだと思います。本書は，さまざまな局面で，「しくじらない」ためのノウハウを満載しています。Practice makes perfect! 皆さん，本書をひもときながら，ぜひ多くのプレゼンをしてください。その後，本書を読み返すと，さらに大きな発見があると思います。

● A5 頁192 2018年10月
定価：本体2,600円＋税
[ISBN978-4-260-03191-2]
医学書院